

愛鷹連峰

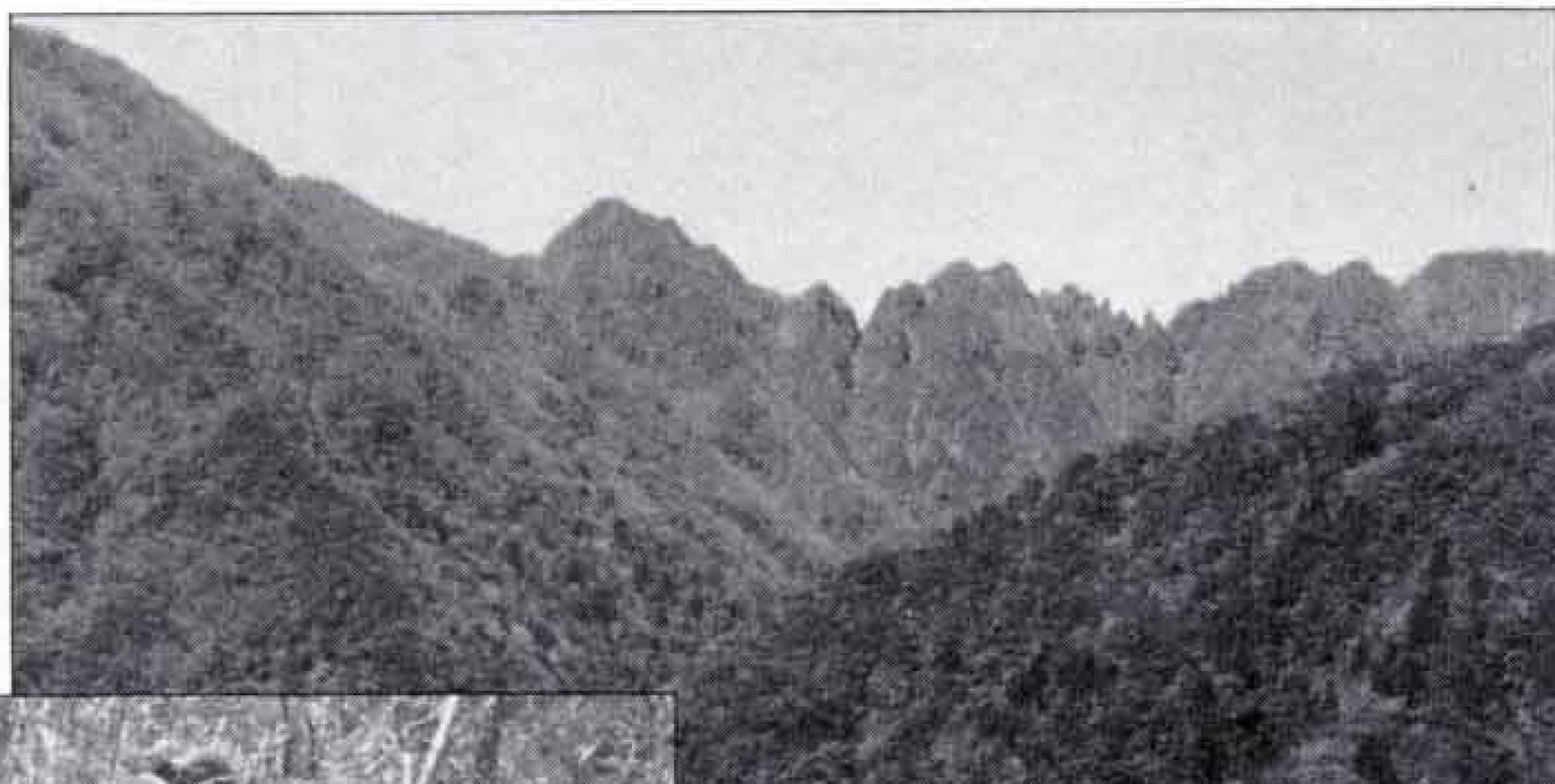
東山に開け

=富士市山岳救助隊の活動=

ことしも、夏山のシーズンがやつてきました。

愛鷹山は身近な山として登山者の人気を集め、毎年この季節には多くの人々が入山します。でも御注意!!

近いから:と登山を気軽に考えていましたか。愛鷹山では毎年のように事故が発生し、昨年も一人死亡しています。さあ、登山の前にもう一度登山心得とルートのチェックを:。



△中央が鋸岳



△山岳救助隊員の訓練

とにかく山で
道に迷つたら
尾根に戻ること

富士市山岳救助隊
副隊長

滝口允さん
(増川)



愛鷹山は、実にもろく、崩れやすい山なんです。現在、愛鷹連峰を縦走するのに、本格的な岩登りの技術が必要だと私は考えています。遭難の原因はやはり転落が多いですね。また、最近では市外の登山者の事故も多く対策に苦慮しています。

入山の前には、心と装備のチェックを十分に、また単独登山は避け、道に迷つたら、とにかく尾根に戻ることです。日本の山なら尾根に必ず道があります。

愛鷹山は、もう一、崩れやすいを念頭に置いて次の注意事項を守りましょう。

◆危険・注意箇所

- 鋸岳の縦走や、割石沢・鋸岳各ルンゼの登はんは、崩壊が激しいため一般ルートから除外されています。
- ヤエン沢・位牌沢の登はんは、極めて危険なので避けること。

◆登山注意事項

いざ遭難が発生すると、真夜中に駆けつけ、救助作業に協力する人たちがいます。富士市山岳救助隊(隊長川島禮一)の皆さんです。この隊は、市内にいくつかある山岳会の有志四十人ほどで組織されているボランティア集団です。隊員は、遭難時以外にも事故未然防止のため登山ルートの定期的な点検補修や、的確、迅速な救助作業と二重遭難防止のために救助訓練などを行い、常日ごろから、愛鷹山の緊急時に備えています。

美しい山で、高さも一千五百㍍もありましたが、その後火山活動をぴたりとやめてしまったので、風化と浸食が進みだんだん崩れて、今のように低く(最高峰・越前岳千五百七㍍)なりいくつかの峰に分かれてしまいました。そして現在も崩壊は続いているのです。

登山注意心得

御存じですか
富士市山岳救助隊

。単独登山は避け、習熟したチークを提出しよう。
。登山者カードを提出しよう。
。無理な登山は避け、途中で引き返す勇気を。